

比較相関構文における越 (yue) の特性について

張晨迪

(九州大学大学院)

キーワード：中国語、越 (yue) 構文、比較相関、意味表示、統語構造

1. 問題提起

日本語のホドや英語の *the more/-er...the more/-er* が比較相関を表すのと同様に、中国語では、次の(1)が示すように、「越 (yue) …越 (yue) …」という形式がその役割を果たす (以下、便宜上、越 (yue) 構文と呼ぶ)¹。

- (1) a. 張三 越 想 越 着急。
zhangsan yue xiang yue zhaoji
張三 より 考える より 焦る

張三はより考えると、より焦る。²

¹ 越 (yue) は、現代中国語では、副詞として使われる。もともと動詞に起源をもち、「越える」という意味である。現代中国語では、「越獄 (脱獄)、翻山越岭 (山を登り、丘を越える)」などいくつか決まった単語以外、動詞として単独で使われることはほとんどない。

また、越 (yue) 構文は、英語の *the more/-er...the more/-er* 構文と対応しているが、*more/-er* が比較構文でも使えるのに対して、越 (yue) は、中国語の比較構文では使えない。

- (i) a. *今天 比 昨天 越 热。 b. 今天 比 昨天 更 热。
jintian bi zuotian yue re jintian bi zuotian geng re
今日 より 昨日 より 暑い 今日 より 昨日 更に 暑い
今日は昨日よりもっと暑い。 今日は昨日よりもっと暑い。

² (1)の自然な日本語訳は「張三は考えれば考えるほど焦る」であるが、「ホド」

- b. 我 越 往下 读, 越 被吸引。
 wo yue wangxia du yue bei xiyin
 私 より へ 下 読む より 惹かれる
 より読み進めると、より興味がわいてくる。

この越 (yue) 構文は比較相関を表す機能としては、日本語のホドや英語の *the more/-er...the more/-er* と同様であるが、比較相関構文の構築の仕方が日本語や英語と異なると考えられる。その証拠の1つにそれらの要素が3つ現れる場合の容認性の違いが挙げられる。以下の(2)のように、日本語と英語では、ホドと *the more/-er* が3つ現れることはできないが、(3)のように中国語では、越 (yue) が3つあっても容認される。

- (2) a. *あなたが怒るほど、しわが多くなるほど、体がよくないほどだ。
 b. *The angrier you are, the more wrinkle you get, the worse your health condition become.

- (3) ^{ok}[節1 你 越 生气], [節2 皱纹 越 多], [節3 身体 越 不好]。
 ni yue shengqi zhouwen yue duo shenti yue bu hao
 あなた より 怒る しわ より 多い 体 より よくない
 あなたがより怒ると、しわがより多くなり、体もよりよくなる。

[Tsao & Hsiao 2002: 821, 注(12)]

(3)の越 (yue) 構文は、越 (yue) が含まれる節が3つ連続し、それぞれ節1は従属節で、節2と節3は主節で並立関係を持っている。このほかに、(4)のように、節1と節2は並立関係を持つ従属節で、節3は主節である場合もある。

- (4) [節1 老师 的 水平 越 高], [節2 使用 的 教科书 越 好],
 laoshi de shuiping yue gao shiyong de jiaokeshu yue hao
 先生 の レベル より 高い 使う の 教科書 より よい
 [節3 学生 的 进步 就 越 大]。
 xuesheng de jinbu jiu yue da
 学生 の 進歩 jiu より 大きい

という語彙は、越 (yue) という語彙のように「より」という意味を直接表していないため、本論文では、中国語例文の日本語訳文は「より…より…」を用いる。

先生の教育能力がより高く、使う教科書がよりよいと、学生がより大きく進歩する。

さらに、次の(5)では、3つの節の間で「節1ならば節2、節2ならば節3」という関係が成り立っている。具体的には、節1「本をより多く読む」は、節2「作文のレベルがより早くあがる」が成り立つ条件で、これがまた節3「先生はあなたのことをより好きになる」の成立条件となっている。³

- (5) [節1 书 看得 越 多], [節2 写作 水平 就 提高 得 越 快],
shu kan de yue duo xiezuo shuiping jiu tigao de yue kuai
本 読む DE より 多い 作文 レベル jiu あがる DE より 早い
[節3 老师 就 越 喜欢 你].
laoshi jiu yue xihuan ni
先生 jiu より 好き あなた

本をより多く読むと、作文のレベルがより早くあがり、すると、先生はあなたのことをより好きになる。

このように、越 (yue) 構文は日本語と英語の比較相関構文と異なり、越 (yue) が含まれる節が3つ生起することができ、また、それらの間では(3)-(5)のように異なる意味関係を持っている。

また、越 (yue) 構文では、越 (yue) が動詞の直前に現れる際、動詞を

³ このような関係が成り立つことは、節2と節3にそれぞれ「就 (jiu)」が含まれていることからわかる。「就 (jiu)」は次の(i)が示すように、条件文の後件 (具体的には主語と動詞の間) に生起することができ、それが主節であるマーカーとなっている。

(i) 明天下雨的话, 我就去接你。

明日雨が降るなら、私はあなたを迎えに行くよ。

越 (yue) 構文は「AならばB」という基本的な意味を表す点で条件文と似ており、(ii)が示すように、その後件に「就 (jiu)」が生起することも可能である。

(ii) 时间越长, 成功的可能性就越大。

時間がより長いと、成功する可能性がより大きい。

(5)では節2と節3にそれぞれ「就 (jiu)」が含まれていることから、(5)の3つの節では「節1ならば節2、節2ならば節3」という関係になっていると考えられる。

修飾する解釈ができるが ((6i))、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈ができない ((6ii))。

- (6) 优秀的学生 越 来听课, 老师 越 高兴。
 youxiu de xuesheng yue lai tingke laoshi yue gaoxing
 優秀 の学生 より 来る 授業を聞く 先生 より 喜ぶ

- i. ^{ok} 優秀な学生がより授業を聞きに来ると、先生がより喜ぶ。
 ii. *より優秀な学生が授業を聞きに来ると、先生がより喜ぶ。

- cf. ^{ok} 越 优秀的学生 来听课, 老师 越 高兴。⁴
 yue youxiu de xuesheng lai tingke laoshi yue gaoxing
 より 優秀 の学生 来る 授業を聞く 先生 より 喜ぶ
 より優秀な学生が授業を聞きに来ると、先生がより喜ぶ。

(6)に示したように、越 (yue) 構文で越 (yue) に修飾される要素は通常、越 (yue) と sister 関係を持つ要素である。実際、(7)が示すように、越 (yue) と sister 関係を持たない要素でも越 (yue) によって修飾されうる。

- (7) a. 老师 越 [VP 选 难 (的) 课题], 学生 越 辛苦。⁵
 laoshi yue xuan nan (de) keti xuesheng yue xinku
 先生 より 選ぶ 難しい (の) 課題 学生 より 苦労する
 先生がより難しい課題を選ぶと、学生がより苦労する。

- b. 我 越 [VP 弹 得 响], 他 越 [VP 吼 得 凶].⁶ [cf. 邢 2001: 387, (42)]
 wo yue tan de xiang ta yue hou de xiong

⁴ この文は「優秀な学生がより授業を聞きに来ると、先生がより喜ぶ」という解釈はできない。

⁵ (7a)は、「先生が難しい課題をより (たくさん) 選ぶと、学生がより疲れる」という解釈もできる。

⁶ (7b)で越 (yue) に修飾される要素は動詞の「補語」内の形容詞であり、ここで言う「補語」は中国語学でよく使われる名称である。典型的な補語は、「V+得 (de)」に後続し、V に対してその結果、程度、状態、数量などの意味を補うものであり、(7b)はこの例である。

私 より 弾く DE 大きい 彼 より 喚く DE ひどい

私が（楽器を）弾く音がより大きいと、彼はよりひどく喚く。

(7)では、(7a)における目的語名詞句内の形容詞「难（難しい）」と、(7b)における補語内の形容詞「响（大きい）」、「凶（ひどい）」は、それぞれ越（yue）と sister 関係を持っていないが、越（yue）によって修飾されている。

以上の事実を踏まえ、本論文では、(8)の問題を明らかにすることを目的とする。

- (8) a. 越（yue）が2つある越（yue）構文と、3つある越（yue）構文と、どのように統一的に説明されるのか。
- b. 越（yue）が動詞の直前に現れる際、動詞を修飾する解釈ができるが ((6i))、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈ができない ((6ii)) 事実は、どのように説明されるか。
- c. 越（yue）と sister 関係を持たない要素 ((7a)における目的語名詞句内の形容詞、(7b)における補語内の形容詞) が越（yue）によって修飾されうるといふ現象はどのように説明されるか。

次節では、まず先行研究 (Tsao & Hsiao (2002), Lin (2007), Liu (2008), E (2014)) を概観し、そのいずれも(8)の問題を全部解決できないことを示す。その次に、3節では、本論文で用いる統語意味論というアプローチを紹介し、(8)に対する本論文の分析を提案する。最後に、4節はまとめである。

2. 先行研究

2.1. Tsao & Hsiao (2002)

Tsao & Hsiao (2002)は、越（yue）構文に次のような分析を与えている。

- (9) 越₁ clause（越（yue）構文の前件）は、topicを表し、越₂ clause（越（yue）構文の後件）は、commentを表す。越₁ clauseが、IPをなす越₂ clauseに adjoinする（越（yue）は、程度や量化を表す副詞であり、動詞句 VPに adjoinする）。

具体的には、たとえば、(10a)の樹形図は、(10b)のようになるという。

(10) a. 我 天气 越 热, 越 吃不下 [Tsao & Hsiao 2002: 833, (88a)]

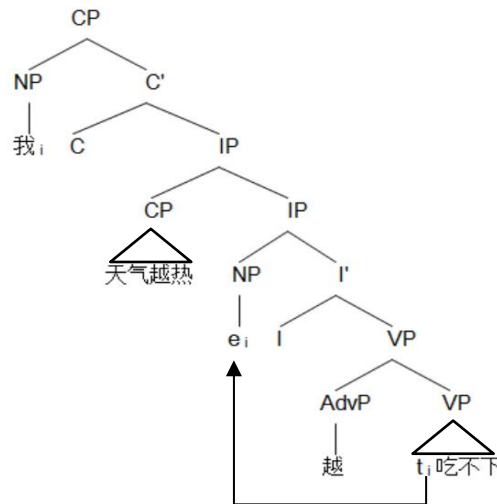
wo tianqi yue re yue chi buxia

私 天气 より 暑い より 食べられない

私は、天气がより暑いと、より食欲がない。

b. (10a)の樹形図⁷

[Tsao & Hsiao 2002: 833, (88b)]



(10b)では、越₂ clause「越吃不下（より食欲がない）」が IP を成しており、越₁ clause「天气越热（天气がより暑いと）」は、それに adjoin している。

しかし、(11)に示すように、Tsao & Hsiao (2002)は、(8)であげた問題を一部解決できない。

(11) (8)の問題に対して：

- a. 越 (yue) が2つある越 (yue) 構文と、3つある越 (yue) 構文と、どのように統一的に説明されるのか。

... Tsao & Hsiao (2002)は説明できる。

- b. 越 (yue) が動詞の直前に現れる際、動詞を修飾する解釈ができるが ((6i))、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈ができない ((6ii)) 事実上、どのように説明されるか。

⁷ 文頭の「私」は、CP spec に基底生成する topic であるという。この topic は、VP spec の位置から IP spec の位置に移動した IP の主語と同一指示を持っている。

... Tsao & Hsiao (2002)は説明できる。

- c. 越 (yue) と sister 関係を持たない要素 ((7a)における目的語名詞句内の形容詞、(7b)における補語内の形容詞) が越 (yue) によって修飾されうるという現象はどのように説明されるか。

... Tsao & Hsiao (2002)は説明できない。

(11a)-(11b)の問題は、Tsao & Hsiao (2002)では直接的な議論はないが、越 (yue) 構文の前件が IP-adjunct として分析されているため、越 (yue) が2つあっても3つあっても問題にならないと考えられる。また、(10b)の樹形図から、越 (yue) は動詞の直前に現れる際に、VP を修飾していることがわかる。よって、越 (yue) が動詞の直前に現れる際、動詞を修飾する解釈(6i)ができるが、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈(6ii)ができないと推測できる。

しかし、Tsao & Hsiao (2002)は(11c)の問題を説明できない。(10b)の樹形図から、越 (yue) はそれと sister 関係を持つ VP を修飾することができるということがわかる。しかし、(7)のように、越 (yue) と sister 関係を持たない「目的語名詞句内の形容詞」や「補語内の形容詞」がなぜ越 (yue) に修飾されうるのかについては説明できない。

2.2. Lin (2007), Liu (2008)

Lin (2007)は、形式意味論のアプローチから越 (yue) 構文を分析している。

- (12) 越 (yue) 構文は、quantificational tripartite structure を成しており、同じ individual あるいは異なる individual の degree を比較することで意味が派生される。

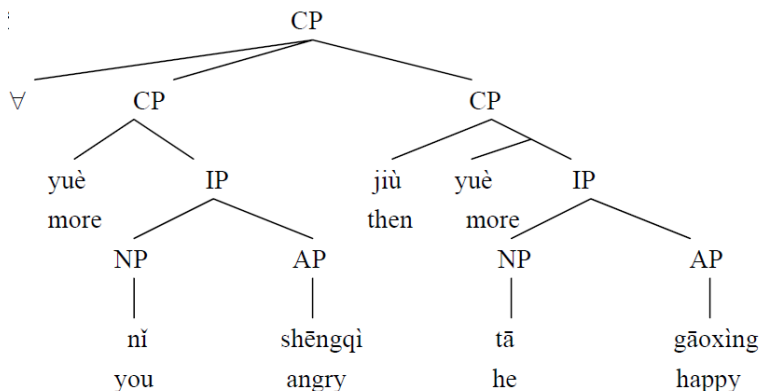
具体的には、(13)のような mapping が仮定されており、例えば、(14a)の文は、(14b)のようになる。

- (13) 越₁ clause と越₂ clause が、それぞれ、covert な quantifier の restriction と nuclear scope に map する (越₁ と越₂ もそれぞれ restriction と nuclear scope に adjoin する)。

- (14)a. 你 越 生气, 他 (就) 越 高兴。

ni yue shengqi ta (jiu) yue gaoxing
 あなた より 怒る 彼 (jiu) より 喜ぶ
 あなたがより怒ると、彼がより喜ぶ。

b. (14a)の logical form [Lin 2007: 188, (55)]



また、Lin (2007)は、Doetjes (1997)の仮定を前提に、越 (yue) の semantics は(15)であるという。⁸

$$(15) [[\text{yue}]] = \lambda P_{\langle d, \langle s, t \rangle \rangle} \lambda g_1 \lambda g_2 \lambda s_1 \lambda s_2 [P(g_1)(s_1) \wedge P(g_2)(s_2) \wedge g_2 > g_1]$$

[Lin 2007: 189, (56)]

さらに、越 (yue) 構文の semantics は(16)のようになっているという。

$$(16) [[[Q \text{ adv}]] (\text{yue-P}) (\text{jiu yue-Q})$$

$$= \text{Qadv } \alpha_1', \alpha_1'' \dots d_1, d_2 \dots \alpha_n', \alpha_n'', s_1, s_2 [P(\alpha_1') \dots (d_1) \dots (\alpha_n'') (s_1) \wedge P(\alpha_1'') \dots$$

$$(d_2) \dots (\alpha_n'') (s_2) \wedge d_2 > d_1]$$

$$\Rightarrow \exists d_3, d_4, s_3, s_4 [s_1 \leq s_3 \wedge s_2 \leq s_4 \wedge R(\langle d_1, s_1 \rangle, \langle d_3, s_3 \rangle) \wedge R(\langle d_2, s_2 \rangle, \langle d_4, s_4 \rangle)$$

⁸ Doetjes (1997)は、形容詞は、additionalな argument として、degree を持ち、動詞は、additionalな argument として degree あるいは quantity argument を持つと仮定した。(15)では、越 (yue) の argument は degree と situation の関係 ($\lambda g \lambda s.P(g)(s)$ = type $\langle d, \langle s, t \rangle \rangle$) となっているが、ほかにも、越 (yue) の argument になりうるものは、例えば individual と degree と situation の間の関係など、様々なケースがある。これらをまとめると(i)のようになる (α は何らかの semantic type を表す)。

(i) $[[\text{yue}]] = \lambda P_{\langle \alpha_1, \langle \dots \langle d, \dots \langle \alpha_n, \langle s, t \rangle \rangle \rangle \rangle} \lambda \alpha_1' \lambda \alpha_1'' \dots \lambda d_1 \lambda d_2 \dots \lambda \alpha_n' \lambda \alpha_n'' \dots$
 $\lambda s_1 \lambda s_2 [P(\alpha_1') \dots (d_1) \dots (\alpha_n') (s_1) \wedge P(\alpha_1'') \dots (d_2) \dots (\alpha_n'') (s_2) \wedge d_2 > d_1]$
 [Lin 2007: 21, (58)]

$$\wedge Q (\alpha_1') \dots (d_3) \dots (\alpha_n') (s_3) \wedge Q (\alpha_1'') \dots (d_4) \dots (\alpha_n'') (s_4) \wedge d_4 > d_3] ^9$$

[Lin 2007: 192, (62)]

具体的には、たとえば(17)の意味表示は(18)になる。

(17) 你 越 生气, 他 (就) 越 高兴。 [=(14a)]
 ni yue shengqi ta (jiu) yue gaoxing
 あなた より 怒る 彼 (jiu) より 喜ぶ

あなたがより怒ると、彼がより喜ぶ。

(18)(17)の semantics

$$\begin{aligned} & [[\forall yuè\ nǐ\ shēngqì\ jiù\ yuè\ tā\ gāoxìng]] \\ & = \forall g_1, g_2, s_1, s_2 [\text{angry}'(\text{you}') (g_1)(s_1) \wedge \text{angry}'(\text{you}') (g_2)(s_2) \wedge g_2 > g_1] \\ & \Rightarrow \exists g_3 \exists g_4, s_3, s_4 [s_1 \leq s_3 \wedge s_2 \leq s_4 \wedge R(\langle g_1, s_1 \rangle, \langle g_3, s_3 \rangle) \wedge \\ & \quad R(\langle g_2, s_2 \rangle, \langle g_4, s_4 \rangle) \wedge \text{happy}'(\text{he}') (g_3)(s_3) \wedge \text{happy}'(\text{he}') (g_4)(s_4) \wedge \\ & \quad g_4 > g_3] \end{aligned}$$

[Lin 2007: 192, (63)]

Lin (2007)にならい、Liu (2008)も、越 (yue) 構文は、意味的に quantificational tripartite structure を成すと分析している¹⁰。また、越 (yue) 構文の syntactic tree structure とその quantificational tripartite structure の間には、Revised Extended Mapping Hypothesis に基づいて mapping 操作が行われると述べている¹¹。Liu (2008)の越 (yue) と越 (yue) 構文についての考

⁹ (16)の semantics では、R という記号は副詞「就 (jiu)」の logical form を表す。Lin (2007)では、越₁ clause と越₂ clause の間における Causation の関係は「就」によって結び付けられると考えられているため、R は pragmatically determined relation でそこから Causation meaning を作るものであるとされている。

¹⁰ 例えば、(i-a)は、(i-b)の意味を持つという。

(i) a. 天气越热, 水喝得越多。天气がより暑いと、水をより多く飲む。

b. $\forall t_1, t_2 [It\ is\ hotter\ at\ t_2\ than\ at\ t_1] \rightarrow [People\ drink\ more\ water\ at\ t_2\ than\ at\ t_1]$

(i)は、時間 (time) に関わる全称量化であるが、世界 (world) と個体 (individual) に関わる全称量化も可能であると述べている。

¹¹ Revised Extended Mapping Hypothesis は、Tsai (2001)の Extended Mapping Hypothesis の改訂版である。

え方は、基本的に Lin (2007)と同様であるため、ここでは詳しい説明を省略する。

このような Lin (2007)の分析では、(19)に示すように、(8)の問題を解決することができない。

(19) (8)の問題に対して：

- a. 越 (yue) が2つある越 (yue) 構文と、3つある越 (yue) 構文と、どのように統一的に説明されるのか。
... Lin (2007)は説明できない。
- b. 越 (yue) が動詞の直前に現れる際、動詞を修飾する解釈ができるが ((6i))、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈ができない ((6ii)) 事実上、どのように説明されるか。
... Lin (2007)は説明できない。
- c. 越 (yue) と sister 関係を持たない要素 ((7a)における目的語名詞句内の形容詞、(7b)における補語内の形容詞) が越 (yue) によって修飾されうるといふ現象はどのように説明されるか。
... Lin (2007)は説明できない。

まず、(19a)について、Lin (2007)は越 (yue) が含まれる2つの節をそれぞれ *quantifier* の *restriction* と *nuclear scope* であると位置づけているため、越 (yue) が含まれる節が3つある場合には対応できない。たとえ3つの節で2つの節が並立関係を持つ越 (yue) 構文(3),(4)を説明できるとしても、(5)のように、3つの節で「節1ならば節2、節2ならば節3」の関係が成り立つ越 (yue) 構文は説明できないと考えられる。

また、Lin (2007)は(19b)の問題も説明できない。Lin (2007)は(6i)と(6ii)のどちらの解釈も許してしまう。(14b)が示すように、越 (yue) はそれぞれ *restriction* と *nuclear scope* の IP に *adjoin* するため、越 (yue) が主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈(6ii)も可能であると予測してしまう。

さらに、Lin (2007)は(19c)も説明できない。(15)と(16)の *semantics* から越(yue)の *argument* になるものは P であることがわかる。(17)の *semantics* を表す(18)では、*angry'(you')*が越 (yue) の *argument* となっている。これと(14b)を比べると、つまり越 (yue) と直接 *Merge* する *main predicate* が越 (yue) の *argument* になると推測できる。よって、Lin (2007)は、(7)において *main predicate* ではない「目的語名詞句内の形容詞 ((7a))」と「補語内の形容詞 ((7b))」は越 (yue) によって修飾されないと予測してし

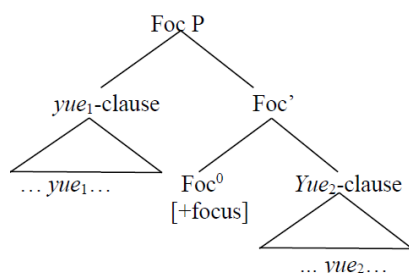
まう。しかし、(7)ではそのような解釈ができる。よって、Lin (2007)は(19c)を説明することができない。

2.3. E (2014)

E (2014)は、Cartography のアプローチから越 (yue) 構文を説明したものである。特に、越 (yue) が1つしかないとは容認されず、2つ共起しなければならない制限を説明しようとした。

(20) 越 (yue) 構文の構造¹²

[E 2014: 132, (31)]



- 越₁ clause における越 (yue) は、focus marker であり、それが c-command するものに focus を与える。
- 越₁ clause は、FocP の spec に基底生成し、越₂ clause は、FocP の complement に基底生成する。
- Foc⁰の[+focus] (Focus feature) は、spec-head agreement によって、越₁と越₂の生起を認可 (license) する。¹³

¹² 越 (yue) 構文は、focus construction だと仮定されたのは、次の仮定と事実によるものである。

(i) wh 疑問文に対する返答のなかで、疑問文の wh-operator に対応する答えが focus だと広く仮定されている (It is widely assumed that in an answer to a wh-question, the constituent which corresponds to the wh-operator is taken as a focus (Badan 2008))

[E 2014: 129, II.1-2]

(ii) Q: 什么样的天气, 冰淇淋卖得好? どんな天気の場合アイスクリームがよく売れるの?

A: 天气越热, 冰淇淋卖得越好。天气がより暑いと、アイスクリームがよく売れる。

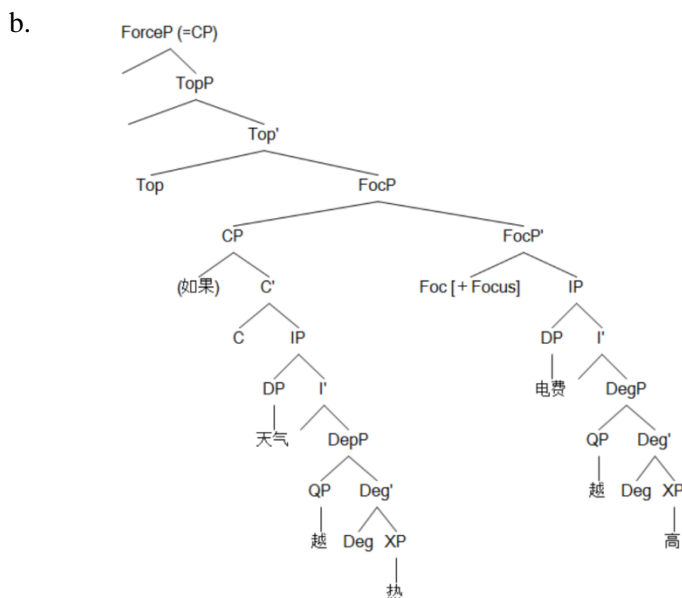
[cf. E 2014: 129, (28)]

¹³ ただし、(20)の提案について注意しなければならないのは、次の(i)と(ii)が(20c)の前提となっているという点である。

(i) Feature Percolation Principles (Cooper (1986), Cole et al (1993)) :

例えば、(21a)の文に対して、(21b)のように分析されている。¹⁴

- (21)a. (如果) 天气 越 热, 电费 (就) 越 高。
 (ruguo) tianqi yue re dianfei (jiu) yue gao
 (もし) 天気 より 暑い 電気代 (jiu) より 高い
 (もし) 天気がより暑いと、電気代がより高くなる。



統語的派生過程において、head が持つすべての feature は、その mother に受け継がれる。ただし、mother は、head が持たないほかの feature を持ってもよい (in syntactic derivation all the features of the head are also on the mother, but the mother may have additional features” (Cooper (1986):32)) [E 2014: 133, 注 55]

(ii) feature-checking

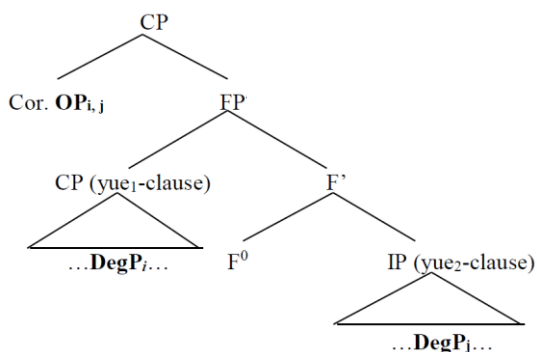
Head が持つ素性は Spec 位置を占める要素が持つ素性と、Agreement を介して check される。

(i)と(ii)に従うと、越 (yue) が持つ素性が浸透できるのは、それを含んだ最大投射の QP までだが、QP はそれぞれ CP と IP の中に深く埋め込まれているため、head 位置にある[+focus]と、spec-head の一致によって check されることができない。つまり、E (2014)が(20c)に提案したように、[+focus]は、越₁と越₂の生起を認可することができない。E 氏自身もこの問題に気付いており、解決案を持っていないと認めている。(Typically percolation only goes to the maximal projection of the head bearing the features, e. g. from Q to QP. However, the yue-phrase is embedded inside maximal projections of another category (IP) in [Spec, FocP]. Percolation from DegP to the maximal category IP in the relationship to the Foc⁰ would be a difficult implementation. I do not have solution to this problem and will leave it for future research. [E (2014): 133, 注 55])

¹⁴ E (2014)では、ごく荒い樹形図しか示されていないため、提示された分析に基づいて再構築した樹形図を掲げておく。

また、越 (yue) 構文の意味解釈については、(22)に示すように、covert な operator (Cor.OP=correlative operator) が仮定され、この operator が DegP_i と DegP_j を同時に bind し、(23)の意味解釈を作る。

(22) [E 2014: 119, (13)]



(23) [E 2014: 120, (14)]

Cor-OP_{i,j} [CP [CP ... yue_i ...], [IP ... yue_j ...]]

$\forall_x \forall_y$ [the value of x increases] → [the value of y proportionally changes too].

E (2014)も、本論文が問題とする(8)を一部解決できない。

(24) (8)の問題に対して：

- a. 越 (yue) が2つある越 (yue) 構文と、3つある越 (yue) 構文と、どのように統一的に説明されるのか。
... E (2014)は説明できない。
- b. 越 (yue) が動詞の直前に現れる際、動詞を修飾する解釈ができるが ((6i))、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈ができない ((6ii)) 事実上、どのように説明されるか。
... E (2014)は説明できる。
- c. 越 (yue) と sister 関係を持たない要素 ((7a)における目的語名詞句内の形容詞、(7b)における補語内の形容詞) が越 (yue) によって修飾されうるといふ現象はどのように説明されるか。
... E (2014)は説明できない。

まず、(24a)について、E (2014)は2つの越 (yue) clause を spec-head agreement で認可しようとしているため、越 (yue) clause が3つある場合

に対応することができない。たとえ3つの節の間で並立関係が成り立つ(3)と(4)のような越 (yue) 構文は、E (2014)の構造によって説明できるとしても、3つの節で「節1ならば節2、節2ならば節3」という関係が成り立つ(5)のような越 (yue) 構文は説明できない。

(24b)については、E (2014)は越 (yue) の文中の位置と解釈の関連性についての議論はしていないが、(21b)の樹形図を見る限り、越 (yue) が修飾できるのは述語に限られている。そのため、(6i)と(6ii)の解釈の違いを説明でき、特に問題にならない。

さらに、E (2014)では(24c)の問題を説明することができない。E (2014)ではどんな要素が越 (yue) に修飾されるかという問題について特に観察していないが、(21b)の樹形図から、越 (yue) はそれと sister 関係を持つ要素を修飾することができるということがわかる。しかし、(7)のように、なぜ越 (yue) と sister 関係を持たない要素も越 (yue) によって修飾されるかについては説明することができない。

3. 本論文の提案

3.1. 統語意味論と中国語

本論文は、上山 (2015) のアプローチを用いる。以下では、まず本論文で用いる統語意味論の基本概念について紹介する。

統語意味論のアプローチでは、Computational system の操作がすべて終了したら、そこから音韻表示と意味表示が読み取れる形を目指している。以下、音韻表示については特に議論せず、意味表示にのみ注目する。

例えば、(25)の場合、その意味表示は、(26)のように表せる。

(25) [约翰] 看 [可爱 (的) 马丽]。¹⁵
 yuehan kan keai (de) mali
 ジョン 見る かわいい (の) メアリ

ジョンは、かわいいメアリを見る。

(26)意味表示

{<x1, {<Name, 约翰>}>},
 <x2, {<Kind, 看>, <Agent, x1>, <Theme, x4>}>},

¹⁵ (25)において、「かわいい」が「メアリ」を修飾する際、「的」がなければならぬが、「的」の語彙特性については、まだ十分に考察できていないため、以下の説明では、仮に「的」を除外して議論を進める。

<x4, {<Name, 马丽>, <可爱, _>}>

(26)は、x1 と x2 と x4 という 3つの OBJECT の集合であり、それぞれ「ジョンという名前のもの」「x1 が x4 を見るという event」「メアリという名前でかわいいもの」を表している。

統語意味論では、LF から(26)が読み取れるようにするために、Lexicon における意味素性も明示的に示している。Lexicon においては、それぞれの語彙項目は(27)のような構造になっており、ここで、「<id-slot, {property, ...}>」という部分が意味素性に当たる。

(27)[{範疇素性, 統語素性, ...}, <id-slot, {property, ...}>, 音韻形式]

各語彙項目は、Numeration に入る際、指標番号が与えられ、(28)のような形式になる。

(28)<x_n, [{範疇素性, 統語素性, ...}, <id-slot, {property, ...}>, 音韻形式]>

id-slot とは、LF 表示から意味素性だけをはぎとった際に OBJECT の指標番号となるものである。語彙項目によって、それ自身が OBJECT を指示するものは、独自の指標番号を持つのに対して、それ自身が OBJECT を指示せず単に property を記述するだけのものは、id-slot の位置に適切な解釈不可能素性が指定されることになる。たとえば、「メアリ」のような固有名詞は OBJECT 指示表現なので、(29)のようになるのに対して、「かわいい」のような形容詞は property 記述表現なので、(30)のようになる。

(29) <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}>, 马丽]>

(30) <x3, [{A}, <●, {<可爱, _>}>, 可爱]>

●は、Merge 相手 β が主要部として Merge した場合、 β の指標で置き換えられる解釈不可能素性である。

解釈不可能素性とは、Minimalist Program (MP) において導入された概念で、Computational system における操作は解釈不可能素性を取り除くことを目的として働くものであると定義されている。統語意味論においても、この点は同様であるが、次のような相違点がある。

(31)MP :

- i. 解釈不可能素性の削除が movement のモチベーションである。Merge は、解釈不可能素性の削除には関与しない。
- ii. 解釈不可能素性は、すべて統語素性である。

(32)統語意味論 :

- i. 解釈不可能素性は、(movement だけでなく) Merge によっても削除される。
- ii. 解釈不可能素性は、統語素性の場合もあれば、意味素性の中にも含まれる場合もある。

たとえば、(29)と(30)が Merge すると、次のように素性が統合される。

(33) <x3, [{A}, <●, { <可爱, _>}, 可爱]>
 <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}, 马丽]>

⇒Merge

<x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}, <x3, [{A}, <x4, { <可爱, _>}, 可爱]>
 <x4, [{N}, φ, 马丽]>
 >]>

解釈不可能素性●は、この Merge によって、x4 という指標に置き換えられ、その結果、「かわいい」という property が x4 という OBJECT のもつ property であるという表示が派生することになる。

同様に、(26)の「<x2, {<Kind, 看>, <Agent, x1>, <Theme, x4>}>」という意味表示を得ようとするならば、Lexicon においては x1 や x4 にあたる位置に解釈不可能素性を置いておけばいいことになる。ただし、(25)の文を見れば明らかなように、動詞の左側にあらわれるものが必ず Agent となり、動詞の右側にあらわれるものが Theme とならなければならない。

(25) [约翰] 看 [可爱 (的) 马丽]。
 yuehan kan keai (de) mali
 ジョン 見る かわいい (の) メアリ

ジョンは、かわいいメアリを見る。

このような制限を説明するためには、主要部が左側にくる Merge (Left-headed Merge) と主要部が右側にくる Merge (Right-headed Merge) が区別され、Theme の value となる指標は Left-headed Merge の相手の指標であり、Agent の value になる指標は Right-headed Merge の相手の指標であると考えざるをえない。

(34) <x2, [{V}, <x2, {<Kind, 看>, <Agent, ★_[RH]>, <Theme, ★_[LH]>}]>, 看]>

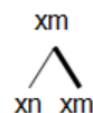
(35) **RH Merge (Right-Headed Merge)**

<xn, [{範疇素性 1, 統語素性 1}, 意味素性 1, body1]>

<xm, [{範疇素性 2, 統語素性 2}, 意味素性 2, body2]>

⇒RH-Merge

<xm, [{範疇素性 2, 統語素性 2}, 意味素性 2, <
 <xn, [{範疇素性 1, 統語素性 1}, 意味素性 1, body1]>
 <xm, [{範疇素性 2}, φ, body2]>
 >]>



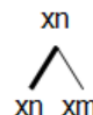
(36) **LH Merge (Left-Headed Merge)**

<xn, [{範疇素性 1, 統語素性 1}, 意味素性 1, body1]>

<xm, [{範疇素性 2, 統語素性 2}, 意味素性 2, body2]>

⇒LH-Merge

<xn, [{範疇素性 1, 統語素性 1}, 意味素性 1, <
 <xn, [{範疇素性 1}, φ, body1]>
 <xm, [{範疇素性 2, 統語素性 2}, 意味素性 2, body2]>
 >]>



(37) 解釈不可能素性：★_[RH]

削除規定 RH Merge の相手の指標によって置き換えられる。

(38) 解釈不可能素性：★_[LH]

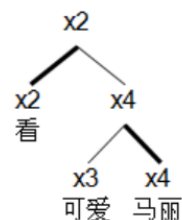
削除規定 LH Merge の相手の指標によって置き換えられる。

たとえば次のようになる。

(39) <x2, [{V}, <x2, {<Kind, 看>, <Agent, ★_[RH]>, <Theme, ★_[LH]>}>, 看]>
 <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}>, <
 <x3, [{A}, <x4, {<可爱, _>}>, 可爱]>
 <x4, [{N}, φ, 马丽]>
 >]>

⇒LH Merge

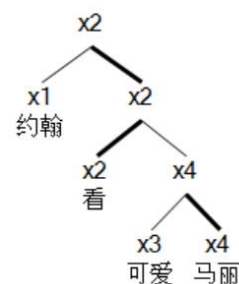
<x2, [{V}, <x2, {<Kind, 看>, <Agent, ★_[RH]>, <Theme, x4>}>, <
 <x2, [{V}, φ, 看]>
 <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}>, <
 <x3, [{A}, <x4, {<可爱, _>}>, 可爱]>
 <x4, [{N}, φ, 马丽]>
 >]>
 >]>



(40) <x1, [{N}, <x1, {<Name, 约翰>}>, 约翰]>
 <x2, [{V}, <x2, {<Kind, 看>, <Agent, ★_[RH]>, <Theme, x4>}>, <
 <x2, [{V}, φ, 看]>
 <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}>, <
 <x3, [{A}, <x4, {<可爱, _>}>, 可爱]>
 <x4, [{N}, φ, 马丽]>
 >]>
 >]>

⇒RH Merge

<x2, [{V}, <x2, {<Kind, 看>, <Agent, x1>, <Theme, x4>}>, <
 <x1, [{N}, <x1, {<Name, 约翰>}>, 约翰]>
 <x2, [{V}, φ, <
 <x2, [{V}, φ, 看]>
 <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}>, <
 <x3, [{A}, <x4, {<可爱, _>}>, 可爱]>
 <x4, [{N}, φ, 马丽]>
 >]>
 >]>
 >]>



(40)で Merge が起こった後の音韻形式と意味素性は、そのまま読み取

れる形となっているが、それを明示的に示すと(41)になる。(41)では、下線部が音韻形式を表しており、網掛けの部分の意味素性を表している。それらをまとめると、それぞれ(42)と(43)になる。

(41) <x2, [{V}, <x2, {<Kind, 看>, <Agent, x1>, <Theme, x4>}>, <x1, [{N}, <x1, {<Name, 约翰>}>, 约翰]>
 <x2, [{V}, φ, <x2, [{V}, φ, 看]>
 <x4, [{N}, <x4, {<Name, 马丽>}>, <x3, [{A}, <x4, {<可爱, _>}>, 可爱]>
 <x4, [{N}, φ, 马丽]>
 >]>
 >]>
 >]>

(42) (41)から読み取られる音連鎖
 约翰 看 可爱 马丽

(43) (41)から読み取られる意味素性
 <x2, {<Kind, 看>, <Agent, x1>, <Theme, x4>}>
 <x1, {<Name, 约翰>}>
 <x4, {<Name, 马丽>}>
 <x4, {<可爱, _>}>

(43)の意味素性において id-slot が同一のものをまとめれば、意味表示が導かれる。

(44) (41)の意味表示 [=(26)]
 {<x2, {<Kind, 看>, <Agent, x1>, <Theme, x4>}>
 <x1, {<Name, 约翰>}>
 <x4, {<Name, 马丽>, <可爱, _>}> }

このように、統語意味論では、意味表示が Lexicon における指定にもとづいてどのように派生されるかが具体的に明示される。また、音韻形式も同時に出力されるため、意味 (LF) と音 (PF) の対応関係を捉える

ことができる。

MP においては、Merge という操作はごく一般的に定義され、特殊な Merge 規則は仮定されていないが、各言語における意味と音の対応関係を十分にとらえるためには、Merge 規則を具体的に記述する必要があり、その結果、いくつかの異なった Merge 規則を仮定しなければならない可能性が高い。上では、Right-headed Merge と Left-headed Merge を紹介したが、中国語の基本構文を説明するためには、ほかにもいくつかの Merge 規則を仮定する必要がある。ただし、本論文には直接関係しないため、ここでは議論を割愛する。

3.2. 越 (yue) 構文の意味表示

越 (yue) 構文の意味表示について、本論文では、たとえば(46)のようになっていると考えている。

(45) 張三 越 想 越 着急。 [(1a)]
 zhangsan yue xiang yue zhaoji
 張三 より 考える より 焦る

張三はより考えると、より焦る。

(46)意味表示

```
{<x1, {<Name, 張三>}>
  <x3, {<Kind, 想>, <Agent, x1>, <Degree, 越>, <Correlative, _>}>
  <x5, {<Kind, 着急>, <Agent, x1>, <Degree, 越>, <Correlative, _>}> }
```

(46)には、x1, x3, x5 という3つの OBJECT が含まれている。x1 は、張三という名前の人物であり、x3 は、その張三が行う「考える」という行為で、その度合いが「越」であり、何か相関物があるということ、そして、x5 は、張三の「焦る」という行為で、その度合いも「越」であり、これにも何か相関物があるということが述べられている。この意味表示では、「考える」と「焦る」こととの間に相関関係があるということは直接に述べられていないが、(46)のような意味表示が与えられれば、<Correlative, _>という property を持っている2つの OBJECT を関係づけて(47)のような推論結果を得ることは特に難しいことではないだろう。

(47) {<x1, {<Name, 張三>}>

<x3, {<Kind, 想>, <Agent, x1>, <Degree, 越>, <Correlative, x5>}>
 <x5, {<Kind, 着急>, <Agent, x1>, <Degree, 越>, <Correlative, x3>}> }

Lin (2007)における越 (yue) 構文の意味表示と比べると、(46)は、一見シンプルすぎるように見えるが、越 (yue) 構文の構造的な特徴を考慮する限り、Computational System で決定される意味関係は(46)までであると考えられるべきである。

ここまでの例のように単純な構文ならば、Correlative の value を統語的に指定する仕組みを工夫することもできると思うかもしれない。しかし、越 (yue) 構文においては、必ずしも越 (yue) が主文の要素であるとは限らず、非常に深く埋め込まれている場合もある。以下のような複雑な構文の場合、Correlative の value を統語的に指定するのは容易ではない。

(48) 目的語

- a. ^{ok}老师 选 越 难 (的) 课题], 学生 越 辛苦。
 laoshi xuan yue nan (de) keti xuesheng yue xinku
 先生 選ぶ より 難しい (の) 課題 学生 より 苦労する

先生がより難しい課題を選ぶと、学生はより苦労する。

- b. ^{ok}老师 选 [越 优秀 的 学生] 喜欢 的 课题]],
 laoshi xuan yue youxiu de xuesheng xihuan de keti,
 先生 選ぶ より 優秀 の 学生 好き の 課題

同学们 越 有意见。

tongxuemen yue youyijian
 同級生たち より 反対する

先生は、より優秀な学生が好きな課題を選ぶと、同級生たちはより反対する。

- c. ^{ok}老师 选 [越 优秀 的 学生] 喜欢 的 教授] 出版 的 书],
 laoshi xuan yue youxiu de xuesheng xihuan de jiaoshou chuban de shu,
 先生 選ぶ より 優秀 の 学生 好き の 教授 出版する の 本

同学们 越 有意见。

tongxuemen yue youyijian
 同級生たち より 反対する

先生は、より優秀な学生が好きな教授が出版した本を選ぶと、同級生た

ちはより反対する。

それに対して、(46)のように越 (yue) が修飾する要素に<Correlative, _>という property を持つと仮定すれば、たとえば(48c)は(49)のような意味表示になり、ここで2つの<Correlative, _>という property が関連づけられていることは、推論で十分に得られる。

(49)(48c)の意味表示

```
{ <x2, {<Kind, 选>, <Agent, x1>, <Theme, x9>}>
  <x1, {<Kind, 老师>}>
  <x9, {<Kind, 书>, <α, x8>}> 16
  <x8, {<Kind, 出版>, <Agent, x7>, <Theme, x9>}>
  <x7, {<Kind, 教授>, <α, x6>}>
  <x6, {<Kind, 喜欢>, <Agent, x5>, <Theme, x7>}>
  <x5, {<Kind, 学生>, <优秀, 越>, <Correlative, _>}>
  <x12, {<Kind, 有意见>, <Agent, x10>, <Degree, 越>, <Correlative, _>}>
  <x10, {<Kind, 同学们>}> }
```

ただし、(48c)は、「学生の優秀度合いに応じて、同級生たちが反対する度合いが変わる」という解釈であり、「同級生たちが反対する度合いに応じて、学生の優秀度合いが変わる」という解釈にならないのは、次の節で説明するように、越 (yue) 構文は、前件が後件の adjunct である構造をなしているためである。

同様の埋め込みの例には、以下のように、さまざまなパターンがある。

(50) 主語¹⁷

a. ^{ok} [越 有名 的 导演], 越 认真。
 yue youming de daoyan yue renzhen
 より 有名 の 監督 より まじめ

¹⁶ <α, x8>のαは、attribute が Computation System において未指定であることを表す。このαが何に対応するかは語用論で決定される。

¹⁷ (50a,b,c)では、越 (yue) 構文の前件が節ではなく NP であり、後件と主語と述語の関係のようになっている。このほかに、前件が NP で後件の目的語のようになっている場合もある。この種類の越 (yue) 構文は、中国語の topic prominence の特徴を反映しているが、それに対する分析は、前件が節である越 (yue) 構文と基本的に同様であると考えている。

より有名な監督が、より真面目だ。

- b. ^{ok} [越 有名 的 导演] 拍 的 电影], 票 房 越 高。
 yue youming de daoyan pai de dianying piaofang yue gao
 より 有名 の 監督 とる の 映画 売上 より 高い
 より有名な監督が撮る映画は、売上がより良い。

- c. ^{ok} [[越 有名 的 导演] 拍 的 电影] 挣 的 钱] 越 多。
 yue youming de daoyan pai de dianying zheng de qian yue duo
 より 有名 の 監督 とる の 映画 稼ぐ の お金 より 多い
 より有名な監督が撮る映画が稼ぐお金はより多い。

- d. ^{ok} [越 有名 的 导演] 推 荐 的 演员] 担 任 主 角 ,
 yue youming de daoyan tuijian de yanyuan danren zhujue
 より 有名 の 監督 推薦する の 俳優 担当する 主役
 电 影 的 成 功 率 越 高。
 dianying de chenggonglü yue gao
 映 画 の 成 功 率 より 高い

より有名な監督が推薦した俳優が主役を担当すると、映画の成功する可能性はより高い。

(51) 付加詞

- a. ^{ok} [越 认真 看 书 的 学生] 参 加 考 试 ,
 yue renzhen kan shu de xuesheng canjia kaoshi
 より まじめに 読む 本 の 学生 参加する 試験
越 容易 取 得 好 成 绩 。
 yue rongyi qude hao chengji
 より 容易 とる よい 成績

本をより真面目に読む学生が試験を受けると、いい成績をより取りやすい。

- b. ^{ok} [越 认真 看 书 的 学生] 提 交 的 作 业],
 yue renzhen kan shu de xuesheng tijiao de zuoye
 より まじめに 読む 本 の 学生 提出する の 宿題
 正 确 率 越 高。

zhengquelü yue gao
正答率 より 高い

本をより真面目に読む学生が提出した宿題は、正答率がより高い。

(52) 動詞

a. ^{ok} [越 挑 漂亮 的 演员] 的 导演] 拍 电影,
yue tiao piaoliang de yanyuan de daoyan pai dianying
より 選ぶ きれい の 俳優 の 監督 とる 映画

越 难 拍出 好 电影。

yue nan paichu hao dianying
より 難しい とる よい 映画

きれいな俳優をより選ぶ監督が映画を撮ると、いい映画を撮ることがより難しい。

b. ^{ok} [越 追求 知名度] 的 演员] 拍 电影,
yue zhuiqiu zhimingdu de yanyuan pai dianying
より もとめる 知名度 の 俳優 撮る 映画

越 注重 和 大导演 合作。

yue zhuzhong he dadaoyan hezuo
より 重視する と 有名な監督 合作

知名度をより求める俳優が映画を撮ると、有名な監督との合作をより重視する。

このように越 (yue) が深く埋め込まれている場合でも、越 (yue) 構文の意味表示が(46)のようなものであると考えるならば、説明することが可能である。

3.3. adjunct 構造

前述したように、越 (yue) 構文では、越 (yue) が3つあっても容認される。また、その場合、文の意味がどのように解釈されるかは、聞き手がどのように判断するかに頼っている。

(53) =(3a)

[節₁ 你 越 生气], [節₂ 皱纹 越多], [節₃ 身体 越 不好]。
 ni yue shengqi zhouwen yue duo shenti yue bu hao
 あなた より 怒る しわ より 多い 体 より よくない
 あなたがより怒ると、しわがより多くなり、体もよりよくなる。

(54) [節₁ 天气 越 热], [節₂ 汗 流 得 越多], [節₃ 水 喝 得 越多]。
 tianqi yue re han liu de yue duo shui he de yue duo
 天気 より 暑い 汗 流れる DE より 多い 水 飲む DE より 多い
 解釈1：天気がより暑いと、汗がより多く流れるし、水をより多く飲む。
 解釈2：天気がより暑くて、汗がより多く流れると、水をより多く飲む。
 [Liu 2008: 1046, 注(16)]

(55) (54)の意味表示

```
{ <x1, {<Kind, 天气>, <热, 越>, <Correlative, _>}>
  <x5, {<Kind, 流>, <Theme, x4>, <多, 越>, <Correlative, _>}>
  <x4, {<Kind, 汗>}>
  <x10, {<Kind, 喝>, <Agent, _>, <Theme, x9>, <多, 越>, <Correlative, _>}>
  <x9, {<Kind, 水>}> }
```

この場合でも、どの OBJECT が<Correlative, _>という property を持つかだけを、意味表示で決めておき、具体的にどのような関係にあるかは、世界知識による推論にゆだねるのが現実的である。

また、越 (yue) 構文の前件と後件は、Tsao & Hsiao (2002)が述べているように、後件に対して前件が *adjoin* している構造であると考えられる。このように考えれば、越 (yue) が2つある構文も、越 (yue) が3つある構文も統一的に説明できる。

3.4. 越 (yue) の語彙特性と越 (yue) 構文の派生

(46)のような意味表示が派生されるためには、(i) 越 (yue) に(56)のような property が含まれていること、(ii) 動詞に(57)のような property が含まれていること、そして、(iii) (58)のように、(56)と(57)が組み合わさった property を作る Merge 規則が必要である。

(46)意味表示

```
{<x1, {<Name, 張三>}>
```

<x3, {<Kind, 想>, <Agent, x1>, <Degree, 越>, <Correlative, _>}>
 <x5, {<Kind, 着急>, <Agent, x1>, <Degree, 越>, <Correlative, _>}> }

(56) [{...}, <..., {<_, 越>, <Correlative, _>}>, 越]

(57) [{V, ...}, <..., { ..., <Degree, _>}>, ...]

(58) <..., { ..., <Degree, 越>, <Correlative, _>}>

ただし、問題は、(7)で示したように、越 (yue) と sister 関係を持たない要素でも越 (yue) に修飾されうるということである。したがって、(56)と(57)が直接 Merge するとは限らないため、長距離依存の関係を構築できる工夫が必要である。そこで、上山 (2015) や東寺 (2015) における長距離依存の関係構築の方法にならって、以下のように提案する。

まず、意味素性の property の中に value が空のままの < α , _>があれば、それを含む語彙項目には、Numeration において、<target, < β , {< α , _>}>>という形式の target 素性を追加することができると仮定する¹⁸。ここで β は、その語彙項目の id-slot のコピー、そして、< α , _>という部分は、その語彙項目が持つ「value が空のままの property」をコピーしたものである。

この target 素性は、主要部であっても非主要部であっても Merge の際に上位の構成素に継承されていくと仮定する。つまり、下で具体的に説明するように、target 素性は、下位の要素の property を上位の構成素に伝える働きを持っている。そして、越 (yue) と Merge する際に次の Target-Merge 規則が適用しなければならないとすると、target 素性が運んできた property と越 (yue) の property が(58)のように組み合わせられることになる。

(59) Target-Merge 規則

<xn, [{...}, <[target], {<_, γ >, ...}>, body1]>
 <xm, [{..., <target, < β , {< α , _>}>>}], ... , body2]>

⇒Target-Merge

<xm, [{...}, ..., <
 <xn, [{...}, < β , {< α , γ >, ...}>, body1]>
 <xm, [{...}, ϕ , body2]>

¹⁸ この α は、「未指定」を表すわけではなく、任意の attribute 名を表す。

>]>

(60) 越 (yue) ¹⁹

[[Z, +V], <●_[target], {<_, 越>, <Correlative, _>}>, 越]

このように仮定すると、(8b)の問題が解決できる。前述したように、(6)では、(6i)の解釈ができるが、(6ii)の解釈ができない。

(6) 优秀 的 学生 越 来 听课, 老师 越 高兴。
 youxiu de xuesheng yue lai tingke laoshi yue gaoxing
 優秀 の 学生 より 来る 授業を聞く 先生 より 喜ぶ

- i. ^{ok} 優秀な学生がより授業を聞きに来ると、先生がより喜ぶ。
- ii. *より優秀な学生が授業を聞きに来ると、先生がより喜ぶ。

つまり、「来る」が target 素性を持つ場合、文は容認可能であるが、「優秀」が target 素性を持つ場合は容認できないということである。この容認性の差は、次の(61)と(62)が示すように、Target-Merge が適用され、解釈不可能素性を消せるかどうかによって区別できる。

(61)では、Target-Merge が適用され、解釈不可能素性●_[target]がうまく取り除かれるため、文法的な出力となる ((61)では、解釈不可能素性★_[RH]は、その後 x2「学生」と Merge する際に削除されるため残らない)。つまり、越 (yue) が「来る」を修飾する解釈ができる。

(61) 「来る」が target 素性を持つ場合

<x3, [[Z, +V], <●_[target], {<_, 越>, <Correlative, _>}>, 越]>

<x4, [[V, <target, <x4, {<Degree, _>}>]], <x4, {<Kind, 来>, <Agent, ★_[RH]>, <Degree, _>, 来]>

⇒Target-Merge

<x4, [{V}, <x4, {<Kind, 来>, <Agent, ★_[RH]>, <Degree, _>}, <x3, [[Z], <x4, {<Degree, 越>, <Correlative, _>}>, 越]> <x4, [{V}, φ, 来]>

¹⁹ 越 (yue) そのものの統語範疇が何であるかは、統語操作に影響を及ぼさないもので、単に「Z」と仮定しておく。また、越 (yue) は、動詞か形容詞の前にしか現れないため、本論文では動詞と形容詞の範疇を同様に「V」と見なし、越 (yue) の統語素性に「+V」とあると仮定する。

>>

それに対して、(62)では、解釈不可能素性●_[target]を含む要素「越 (yue)」が Merge するときには、Target-Merge の適用条件を満たさないため、通常の Merge が適用される。一旦(62)のような Merge が起こると、●_[target]には再度操作を及ぼすことができないため、解釈不可能素性が残ってしまい、出力は非文法的になる。よって、越 (yue) が主語名詞句内にある「優秀」を修飾する解釈はできない。

(62) 「優秀」が target 素性を持つ場合（「来る」が target 素性を持っていない）

<x3, [{Z, +V}], <●_[target], {<_, 越>, <Correlative, _>}>, 越>

<x4, [{V}, <x4, {<Kind, 来>, <Agent, ★_[RH]>, <Degree, _>}, 来]>

⇒Merge

<x4, [{V}, <x4, {<Kind, 来>, <Agent, ★_[RH]>, <Degree, _>}, <

<x3, [{Z, ●_[target], {<_, 越>, <Correlative, _>}>, 越]>

<x4, [{V}, φ, 来]>

>>

Target-Merge を仮定すると、越 (yue) と sister 関係を持たない要素も越 (yue) によって修飾されるということ ((63)の解釈 2) もうまく説明できる。

(63) 老师 越 选 难 (的) 课题, 学生 越 辛苦。
 laoshi yue xuan nan (de) keti xuesheng yue xinku
 先生 より 選ぶ 難しい(の) 課題 学生 より 苦労する

解釈 1: 先生が難しい課題をより (たくさん) 選ぶと、学生がより疲れる。

解釈 2: 先生がより難しい課題を選ぶと、学生がより疲れる。

たとえば、Numeration において「难」に target 素性が追加されたとすると、次のようになる。

(64) target 素性の追加

<x4, [{A, <target, <●, {<难, _>}>}>], <●, {<难, _>}>, 难]>

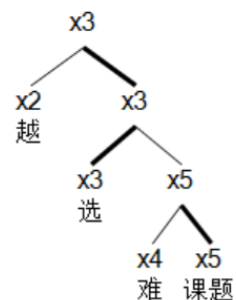
これが他の要素（「課題」、「選ぶ」）と Merge されていくと、target 素

性は上位の構成素に継承され、越 (yue) と Merge するときには次のようになる。

(65) <x2, [{Z, +V}], <●_[target], {<_, 越>, <Correlative, _>}, 越]>
 <x3, [{V, <target, <x5, {<难, _>}>}], <x3, {<Kind, 选>, <Agent, ★_[RH]>, <Theme, x5>}, <
 <x3, [{V}, φ, 选]>
 <x5, [{N}, <x5, {<Kind, 课题>}>], <
 <x4, [{A}, <x5, {<难, _>}>, 难]>
 <x5, [{N}, φ, 课题]>
 >]>
 >]>

⇒Target-Merge

<x3, [{V}, <x3, {<Kind, 选>, <Agent, ★_[RH]>, <Theme, x5>}, <
 <x2, [{Z}, <x5, {<难, 越>, <Correlative, _>}>, 越]>
 <x3, [{V}, φ, <
 <x3, [{V}, φ, 选]>
 <x5, [{N}, <x5, {<Kind, 课题>}>], <
 <x4, [{A}, <x5, {<难, _>}>, 难]>
 <x5, [{N}, φ, 课题]>
 >]>
 >]>
 >]>



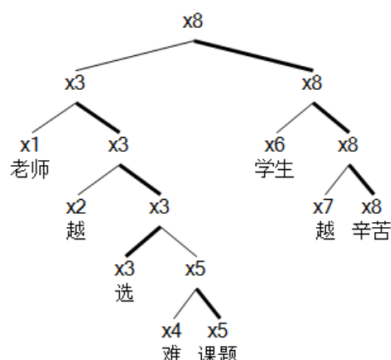
この Merge によって、「<x5, {<难, 越>, <Correlative, _>}>」という property が形成され、これで越 (yue) と sister 関係を持たない「难 (難しい)」が越 (yue) によって修飾される意味表示を形成することになる。以下の (66)と(67)に、(63)の解釈 2 の意味表示と樹形図を示すが、紙幅の都合上、派生の全ステップは省略する。

(66)(63)解釈 2 の意味表示

{ <x8, { <Kind, 辛苦>, <Theme, x6>, <Degree, 越>, <Correlative, _>, <α, x3>}>
 <x6, {<Kind, 学生>}>
 <x3, {<Kind, 选>, <Agent, x1>, <Theme, x5>}>
 <x1, {<Kind, 老师>}>

<x5, { <Kind, 课题>, <难, 越>, <Correlative, _> }> }

(67)(63)解釈 2 の樹形図



このように、越 (yue) と sister 関係を持たない要素が越 (yue) に修飾されうるという事実は、越 (yue) が持つ解釈不可能素性 ●_[target] は長距離にわたって継承される target 素性によって消されると仮定することによって説明される。

4. まとめ

本論文は、統語意味論のアプローチを用いて、従来議論されてこなかった(8)の問題に対して新たな分析を提案した。

- (8) a. 越 (yue) が2つある越 (yue) 構文と、3つある越 (yue) 構文と、どのように統一的に説明されるのか。
- b. 越 (yue) が動詞の直前に現れる際、動詞を修飾する解釈ができるが ((6i))、主語名詞句内にある形容詞を修飾する解釈ができない ((6ii)) 事実は、どのように説明されるか。
- c. 越 (yue) と sister 関係を持たない要素 ((7a)における目的語名詞句内の形容詞、(7b)における補語内の形容詞) が越 (yue) によって修飾されうるとい現象はどのように説明されるか。

まず、(8a)に対して次のように提案した。越 (yue) の意味素性の中には<Correlative, _>という property が含まれ、結果的にその property を持つ OBJECT 同士が相関する解釈が推論によって得られる。それに加え、越 (yue) 構文は adjunct 構造をなすと仮定しているため、越 (yue) が2つある場合でも3つある場合でも統一的に説明できる。

また、(8b)と(8c)については、越 (yue) の id-slot にある解釈不可能素性

●_[target]が、長距離にわたって継承される target 素性によって削除されるものであると仮定することによって、(8b)における主語と目的語の非対称性と、(8c)において越 (yue) と sister 関係を持たない要素が越 (yue) によって修飾されうるという事実が説明される。

以上のように、本論文では特に(8)の問題に対する解決案を試みた。

参考文献

- Badan, Linda (2008a) The even-construction in Mandarin Chinese. In: Redouane Djamouri, Barbara Meisterernst & Rint Sybesma (eds.) *Chinese Linguistics in Leipzig*, 101-116.
- Badan, Linda (2008b) Preposed object and low periphery in Mandarin Chinese. *Studies in Linguistics: CISCL Working Papers on Language and Cognition 2*, 19-42.
- Cole, Peter, Gabriella Hermon & Li-May Sung (1993) Feature percolation. *Journal of East Asian Linguistics 2*: 91-118.
- Cooper, Robin (1986) Swedish and the head-feature convention. In: Lars Hellan & Kirsti Koch Christensen (eds.) *Topics in Scandinavian Syntax*, 31-52.
- Doetjes, Jenny Sandra (1997) Quantifiers and Selection: On Distribution of Quantifying Expressions in French, Dutch and English. Doctoral dissertation, Leiden University.
- E, Chen-chun (2014) The syntax of comparative correlatives in Mandarin Chinese. Doctoral dissertation, The University of Arizona.
- Lin, Jo-wang (2007) On the semantics of comparative correlatives in Mandarin Chinese. *Journal of Semantics 24* (2): 169-213.
- Liu, Luther Chen-Sheng (2008) The view from yue: Chinese comparative correlatives. *Lingua 118*: 1033-1063.
- 東寺祐亮 (2015) 『意味とスケール：度合が関わる表現の統語論』博士論文。九州大学。
- Tsai, Dylan Wei-Tien (2001) On subject specificity and theory of syntax-semantics Interface. *Journal of East Asian Linguistics 10* (2): 129-168.
- Tsao, Feng-fu & Su-ying Hsiao (2002) 「論漢語兩種關聯句式的語法與語意」 [On the syntax and semantics of two correlative constructions in Mandarin Chinese]. *Language and Linguistics 3* (4): 811-838.
- 上山あゆみ (2015) 『統語意味論』名古屋大学出版会。
- 邢福义 (2001) 「"越 p 越 q"句式及其与转折句式的牵连（「越 p 越 q」構

文及び逆接句との関連)』『汉语复句研究』第七章. 北京: 商务印书馆.

The Property of *yue* in Chinese Comparative Correlative Construction

Chendi Zhang

(Graduate School of Kyushu University)

This paper focuses on the property of *yue* 'more', which obligatorily occurs in Chinese Comparative Correlative Construction (hereafter *yue*-construction). *Yue* appears before an adjective or a verb. The previous works simply assume that *yue* occurs with the following adjective/verb and functions to indicate that the relevant degree is increased. However, this paper points out that in some cases the target of its composition can be located in a deeper position. This paper proposes the lexical property of *yue* explicitly and shows how it is responsible in building the *yue*-construction. As a result it will be explained what kind of interpretation each instance of the *yue*-construction allows.

(初稿受理日 2016年3月31日 最終稿受理日 2017年5月1日)